

平成30年度

事業報告

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

目 次

I 現況	1
1 事業	1
2 役員等	1
3 評議員	1
4 顧問等	2
5 事務局	2
6 地区組織	2
7 事業資金	2
II 理事会・評議員会等	3
1 理事会	3
2 評議員会	3
III 事業実施の概要	4
1 一般事業	4
2 普及事業	6
3 振興事業	7
4 助成事業	8
IV 登記事項、届出・報告事項	12
V 附属明細書について	13

I 現況

1 事業

本会の定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

2 役員等（平成31年3月31日現在）

代表理事

会 長 菅原道雄(雪山)

業務執行理事

副会長 多田 満(正満)、杉浦和子(容楓)、増田忠和(鵬泉)

専務理事 広渡英治

常任理事 小野久仁子(光翠扇)、田中建治(岳藤)、山路泰弘(泰洲)

加藤雅章、沼崎 富(星翁)、横山寿宏(寿城)、八文字勝利(剛洲)、
安永利一(江悠)、吉田茂男(魁桜)、平岡勇(光峰)

理 事 原 真人(青柳芳寿郎)、山内直之(正風)、重吉富巳(岸ユキ)、
内田のり子(寿子)、片桐正之、鈴木邦彦(慧山)、多田稔雄(正稔)、
三橋陸雄(吟煌)、徳田良子(寿風)、古庄法男(吟法)、山田則夫(静将)、
横山真吾(精真)、山本憲一(兼正)、笠井俊生(栄俊)、山下勝昭(明穂)、
田村文雄(鵬山)、深浦正孝(精正)、氏原建一(容石)、

(理事 33名)

監 事 師岡光芳(祐学)、渡部行光、毛塚静子(静精)

(監事 3名)

3 評議員（平成30年3月31日現在）

田村和夫(天聖月)、中尾克久(仁泉)、杉山広子(翔鴻)、河田千春(鵬泉)、
足立 勝(育城)、佐藤彰徳(翔風)、松島康夫(南洲)、後藤ひろみ(月戈)、
田尻誠行(向山侑吟)、小澤武久(田中照風)、菊川禎恵(八千穂)、
早淵 肇(鯉将)、黒田利忠(秀月)、早淵淳子(河野鶴聲)、濱元義行(邦雪)、
中山勝治(岳襄)、渡邊賢次(皇洲)、澤石政勝(峯洲)、安田幸代(水鈴)、
大本則夫(翠山)、三藤芳生、鷺野正明、岸田輝夫、小峯 力、佐野慎輔、
久米信行、中島健一郎、八代徹也、谷川真理、向井志穂子(成澤秀麗)、
寺嶋靖廣(城靖)、粟野和子(電嘩)、宮川 進(紫朋)、鈴木輝明(海洲)、
久保田 力(正峰)、小林章男(岳章)、渡 美智子(精華)、藤嶋容美(寺山天洲)、

熊木義雄(雪洲)、山下孝子(神燈)、小峯浩一(昊苑)、丹治 昇(独風)
石井光男(誠紀)、室橋幸子(谿月)、渡邊明子(大伊達不朽)、入倉幸一(昭山)
杉浦裕美(英容)、宇波敏明(千神)、山本演志、臼井寛雄(寛洲)、
久保善嗣(正鳳)、竹内隆一(淳泉)、山口英二(華雋)、多田和晃(正晃)
松葉 勲(水勲)、早崎とも子(麗城)、北川元明(水正)、稲田正胤(菖胤)、
妹尾桂子(藤上翔山)、古田美和子(日下国心)、中村栄治(春荘)、
梶田勝美(鷹巖)、廣石隆司(菅源右光)、高木法生(法洲)、神田武志(清峰)、
大島哲夫(需泉)、横山公三(公風)、内山宗信(靈崇)、稻積政治(清翔)、
日野省三(鳳昇)、松井龍太郎(松聲)、原田重利(瑞祥)、林 建紀(靈山)、
藤野 悟(昭鍊)、小田扶美子(葵 秀鳳)、小塩益廣(晃楼)、清水伸一(穂農)、
赤峰郁夫(郁靈)、後藤幹康(澁靈)、淵上恵子(岳恵)、藤本大輔(誠堂)、
伊東宣和(秀峰)、松川哲二(岳匠)、柿内正幸(岳正)

(評議員 84名)

4 顧問等 (平成31年3月31日現在)

(1) 顧問	20名
(2) 元老	67名
(3) 相談役	327名
(4) 参与	596名

5 事務局 (平成31年3月31日現在)

所在地 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル 7階
常勤役員1名、職員5名

6 地区組織

本会には51の公認都道府県吟剣詩舞道総連盟(以下「公認総連盟」)があり、それぞれの地区に以下の7つの地区連絡協議会を設けている。(括弧内は公認総連盟名)

- (1) 北海道地区連絡協議会(中央、南部、北部、東部、北紋:5地域)
- (2) 東日本地区連絡協議会(青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟、山梨、群馬、
栃木、茨城、埼玉、千葉、神奈川、東京:15都県)
- (3) 中部地区連絡協議会(静岡、愛知、長野、富山、石川、福井、岐阜、三重:8県)
- (4) 近畿地区連絡協議会(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山:6府県)
- (5) 中国地区連絡協議会(岡山、広島、山口、鳥取、島根:5県)
- (6) 四国地区連絡協議会(香川、愛媛、徳島、高知:4県)
- (7) 九州地区連絡協議会(福岡、大分、佐賀、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄:8県)

7 事業資金

本会の事業資金は、各種事業活動による事業収入、公益財団法人日本財団からの助成金、寄附金並びに資金運用の果実等による。

II 理事会・評議員会等

1 理事会

(1) 第15回理事会

開催日 平成30年6月2日
開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区）
決議事項 平成29年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出
報告事項 業務執行状況の報告
出席等 理事出席29名、欠席3名、監事出席3名

(2) 第16回理事会

開催日 平成31年3月9日
開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区）
決議事項 平成31年度事業計画書及び収支予算書の承認
第8回評議員会開催
参与の追加選任
報告事項 業務執行状況の報告
出席等 理事出席30名、欠席3名、監事出席3名

2 評議員会

(1) 第7回評議員会

開催日 平成30年6月17日
開催場所 日本財団ビル 大会議室（東京都港区）
決議事項 平成29年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出
理事の追加選任
評議員の追加選任
報告事項 今後のスケジュール等
出席等 評議員出席73名、欠席12名

Ⅲ 事業実施の概要

1 一般事業

(1) 組織化促進事業

全国7地区連絡協議会の運営がそれぞれの書記局において行われるとともに、本部において全国地区連絡協議会代表者会議、支部において将来ビジョン会議を開催した。

① 各地区連絡協議会の運営

- ◎ 各地区連絡協議会執行部会議等の開催
- ◎ 地区内の公認各吟剣詩舞道総連盟の組織運営への協力
- ◎ 地区内会員の掌握と会員間諸問題の調整
- ◎ 平成30年度の全国吟詠コンクール、全国剣詩舞コンクール及び全国少壮吟詠家審査コンクール地区大会の主催並びに全国決勝及び決選大会の運営実施。
- ◎ 夏季吟道大学及び剣詩舞道大学の地区内参加希望者の推薦並びに全国名流吟剣詩舞道大会及び全国吟剣詩舞道大会など振興会行事への協力

② 全国地区連絡協議会代表者会議の開催

◎ 第1回地区連絡協議会代表者会議

日時 平成30年6月2日
場所 笹川記念会館4階第5会議室
出席者 各地区議長、幹事長、書記長など26名
議題 平成30年度事業実施等に関する連絡会議

◎ 第2回地区連絡協議会代表者会議

日時 平成31年3月9日
場所 笹川記念会館4階第5会議室
出席者 各地区議長、幹事長、書記長など27名
議題 平成31年度事業計画等に関する連絡会議

③ 将来ビジョン会議の開催

- ◎ 北海道地区 平成30年7月 5日 (北海道)
- ◎ 東日本地区 平成30年6月 4日 (東京都)
- ◎ 中部地区 平成30年8月21日 (愛知県)
- ◎ 近畿地区 平成30年6月29日 (大阪府)
- ◎ 中国地区 平成30年8月 4日 (広島県)
- ◎ 四国地区 平成30年6月23日 (愛媛県)
- ◎ 九州地区 平成30年10月7日 (福岡県)

(2) 協力援助事業

吟剣詩舞優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行った。

① 傘下団体の行う行事に対する協力援助

団体の行う吟剣詩舞に関する行事67件に対し、後援名義の貸与等の協力。

② 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門に対する協力援助

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、第42回全国高等学校総合文化祭

(2018信州総文祭)吟詠剣詩舞部門大会の協賛を行うとともに、同大会参加校生徒並びに引率者に対する旅費の援助を行った。

開催日 平成30年8月11日

場所 メセナホール(長野県須坂市)

出演者 24府県292名

補助金 1,982,919円

③ 青少年育成推進のための協力援助

◎ 青少年大会開催に対する協力援助

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、以下の青少年対象の大会等を開催する公認総連盟に対し協力援助金(各100,000円)の交付等を行った。

東京都幼少青年吟剣詩舞発表大会

第60回記念愛媛県青少年吟剣詩舞道大会

平成30年度公財公認神奈川県吟剣詩舞道総連盟第19回幼少青年吟剣詩舞発表大会

第29回岡山県吟剣詩舞青少年大会

第39回栃木県高等学校吟詠剣詩舞発表大会等

平成30年度岐阜県青少年吟剣詩舞発表大会

計 600,000円

(3) 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

◎ 第37回吟詠専門委員会

開催日 平成30年8月24日

場所 成田東武ホテルエアポート2階会議室(千葉県成田市)

出席者 吟詠専門委員8名ほか、オブザーバー4名

◎ 第38回吟詠専門委員会

開催日 平成30年12月23日

場所 笹川記念会館(東京都港区)

出席者 吟詠専門委員9名ほか、オブザーバー2名

◎ 第39回吟詠専門委員会

開催日 平成31年3月9日

場所 笹川記念会館(東京都港区)

出席者 吟詠専門委員10名ほか、オブザーバー4名

◎第49回剣詩舞専門委員会

開催日 平成30年9月15日

場所 笹川記念会館（東京都港区）

出席者 剣詩舞専門委員12名ほか、オブザーバー4名

◎第50回剣詩舞専門委員会

開催日 平成31年2月10日

場所 成田東武ホテルエアポート2階会議室（千葉県成田市）

出席者 剣詩舞専門委員12名ほか、オブザーバー4名

(4) 功労者表彰事業

平成30年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

平成30年9月1日に第32回吟剣詩舞大賞選考委員会を開催し、吟剣詩舞文化賞及び吟剣詩舞功労賞に次の5氏を選考し、第50回全国吟剣詩舞道大会の式典において表彰した。

吟剣詩舞文化賞 河野 正明 尺八演奏家・神奈川県

吟剣詩舞功労賞 広渡 英治 専務理事・千葉県

〃 山路 泰洲 吟詠家・三重県

〃 横山 寿城 吟詠家・大阪府

〃 井上 游洲 吟詠家・岡山県

2 普及事業

(1) 海外普及事業

日本吟剣詩舞振興会創立50周年記念事業として、平成30年7月27日から8月1日まで菅原道雄会長を団長に吟剣詩舞使節団をアメリカ・シカゴに派遣し、シカゴ現代美術館シアターにて公演を実施した。併せて、吟詠・剣詩舞スーパーチームはシカゴで開催されたコマツ柔道教室で演舞披露を行い、在シカゴ日本国総領事館広報文化センターにてワークショップを行った。

期間 平成30年7月27日から8月1日

場所 アメリカ合衆国・イリノイ州シカゴ

人数 74名

(2) 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行った。

- ① 日本吟剣詩舞振興会Webサイトの運用促進を図った。
- ② 吟剣詩舞の広報を図るために、ムックの販売促進を行った。
- ③ 新聞、雑誌などへの広報活動を行った。

3 振興事業

(1) 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会を開催した。

- ① 秋篠宮妃総裁恩賜財団母子愛育会奉賛・平成30年度全国名流吟剣詩舞道大会の開催

日時 平成30年5月5日

場所 刈谷市総合文化センター（愛知県刈谷市）

来場者 2,000名

参加者数 500名

後援 文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、刈谷市、NHKほか報道各社 他

奉賛等 社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会（奉賛金1,500,000円）

(2) 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)を作成配布した。()内は前年度販売実績

・吟剣詩舞道漢詩集（絶句編）解説書	155部	(153部)
・吟剣詩舞道漢詩集（律詩・古詩編）解説書	104部	(66部)
・吟剣詩舞道漢詩集（続絶句編）解説書	110部	(114部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（絶句編）	459部	(599部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（律詩・古詩編）	117部	(288部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（続絶句編）	338部	(409部)
・幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』	78部	(245部)

(3) 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに情報誌として、月刊「吟と舞」を発行した。

平成31年3月31日現在の有料発行部数は6,492部（昨年度末6,932部）である。

(4) 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（CD、カセットテープ）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集（同）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。

また、財団創立50周年を記念し過去の名吟を集めた「よみがえる名吟集」の製作頒布を行った。

()内は前年度販売実績

教材としての吟詠集の製作頒布数

・平成31年度吟剣詩舞道吟詠集CD	3,910本	(3,836本)
・平成31年度吟剣詩舞道吟詠集テープ	299本	(412本)
・よみがえる名吟集CD	2,335本	

教材としての伴奏集の製作監修並びに振興会指定数

・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	478本	(996本)
・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	11本	(37本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	343本	(505本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	5本	(9本)

4 助成事業（日本財団助成事業）

（1）吟剣詩舞普及振興のための全国吟剣詩舞道大会の開催

① 事業の実施内容

「第50回全国吟剣詩舞道大会」の実施

日 時：平成30年11月10日～11日

場 所：日本武道館（東京都千代田区）

入場者数：10,000名（延2日間）

内 容

- ・吟剣詩舞特別企画構成番組「明治150年～最後の将軍徳川慶喜の生涯～」の発表
- ・日本吟剣詩舞振興会創立50周年記念構成番組の発表
- ・ゲスト 華風月&黒流・町屋と吟詠・剣詩舞スーパーチームのコラボレーション
- ・全国吟詠合吟コンクールの開催
- ・全国コンクール優勝者演舞の発表

② 事業目標の達成状況

吟剣詩舞界最大の「全国吟剣詩舞道大会」は、日本武道館で2日間開催。初日は5千人を集め、全国吟詠合吟コンクールの開催や全国コンクール優勝者演舞、また、斯界関係者の総力を挙げて日本吟剣詩舞振興会創立50周年記念構成番組を披露し、一般の皆様やマスコミ関係者にも堪能いただき、吟剣詩舞の普及振興及び周知に役立った。

2日目は特別企画構成番組「明治150年～最後の将軍徳川慶喜の生涯～」を少壮吟士や一流の剣詩舞道家により上演。また、ゲストの華風月&黒流・町屋と吟詠・剣詩舞スーパーチームのコラボも話題となり、吟剣詩舞に馴染のない人にも感動を与え、マスコミ関係者や有識者からも迫力があり画期的であるとの好評を得、6千人の観客を集めた。

③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額 125,109,009円

助成金 99,420,000円

自己負担分 25,689,009円

(2) 吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催

① 事業の実施内容

開催日

- ア. 平成30年度全国剣詩舞コンクール決勝大会(以下「剣詩舞コンクール」) 平成30年9月16日
- イ. 平成30年度全国吟詠コンクール決勝大会(以下「吟詠コンクール」) 平成30年9月17日
- ウ. 第47回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会(以下「少壮コンクール」)平成31年3月10日

場 所

- ア. 剣詩舞コンクール 笹川記念会館国際ホール
- イ. 吟詠コンクール //
- ウ. 群舞コンクール //

参加者

- ア. 剣詩舞コンクール (参加者総数 約8,500人)
- イ. 吟詠コンクール (参加者総数 約18,000人)
- ウ. 少壮コンクール (参加者総数 約5,500人)

内 容

剣詩舞コンクール及び吟詠コンクールは、年齢により6部門に分けて実施し、優れた吟剣詩舞道者の発掘を行った。少壮コンクールは、35歳から55歳までの吟詠指導者の研鑽の場とし、優れた吟詠家を選出する公の機関とすることができた。

② 事業目標の達成状況

各コンクールそれぞれボランティアによる大会役員に支えられ県単位の第一次予選、全国7地区単位の第二次予選及び全国大会として決勝、決選大会を行ったものである。近年の少子化等に伴い会員の減少が特に顕著にあらわれているが、コンクールを通じて幼少年の育成に力をいれ、確実に出場者を確保するとともに、これを更に推し進めることができた。また、少壮コンクールにおいては、少壮吟士としての称号を付与するための厳しい審査基準及び年齢制限を設け、吟詠指導者の公の選出機関としての役目を引き続き果たすことができた。

③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額	17,733,980円
助成金	14,110,000円
自己負担分	3,623,980円

(3) 吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催

① 事業の実施内容

開催日

ア. 夏季吟道大学	平成30年7月14日(土)～15日(日)
イ. 少壮吟士夏季吟詠特別研修会(以下「少壮研修会」)	平成30年8月25日(土)～26日(日)
ウ. 剣詩舞道大学	平成31年2月9日(土)～10日(日)

場 所

ア. 夏季吟道大学	成田東武ホテルエアポート
イ. 少壮研修会	〃
ウ. 剣詩舞道大学	〃

参加者

ア. 夏季吟道大学	117名
イ. 少壮研修会	45名
ウ. 剣詩舞道大学	93名

内 容

夏季吟道大学及び剣詩舞道大学は全国7地区連絡協議会から選ばれた指導者を対象に、吟剣詩舞の幹部指導者の養成研修会として開催し、少壮研修会は少壮吟士候補及び少壮吟士称号取得者を対象に実施した。

② 事業目標の達成状況

全国から選ばれた吟詠の指導者を受講対象者とした夏季吟道大学及び剣詩舞の指導者を受講対象者とした剣詩舞道大学、少壮吟士称号保持者の人格的、技術的向上を目的とした少壮研修会を開催し、現状の吟剣詩舞の把握と芸術的向上を図るとともに、普及振興のための研究討議を行い、レベル向上を図ることができた。

③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額	16,225,360円
助成金	12,640,000円
自己負担分	3,585,360円

(4) 吟剣詩舞普及振興のための調査研究

① 事業の実施内容

(a) 平成30年度政策委員会の実施

日 時 : 平成31年2月25日

場 所 : 笹川記念会館 4階会議室

出席者 : 12名(委員10名、役員2名)

(b) 吟詠・剣詩舞スーパーチーム合同稽古の実施

日 時 : 平成30年4月～平成31年3月(18回)

場 所 : 笹川記念会館(東京都)、大日本敬天社道場(兵庫県)他

(c) 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

② 事業目標の達成状況

(a) 平成30年度政策委員会

吟剣詩舞の会員拡大や月刊誌の拡販およびSNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した広報推進、次代を担う吟剣詩舞道家の育成、財団創立50周年事業などについて検討し、さらに組織内ネットワークの効率推進や若者から高齢者までの活躍の場の提供方法などの審議が広がった。

(b) 吟詠・剣詩舞スーパーチーム合同稽古

名流大会・武道館大会を始めとした財団行事への出演に向けての合同稽古を行って練度を高め、業界内外への吟剣詩舞道のPR・振興に寄与した。

(c) 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

武道館大会などの節目に合わせた広報展開や、ウェブサイトとテレビ局を連動させた告知などを行い、吟剣詩舞道の広報促進に努めた。

③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額	8,381,498円
助成金	8,253,280円
自己負担分	128,218円

IV 登記事項、届出・報告事項

1 登記事項

平成30年7月10日

平成30年10月16日

・理事・監事・評議員の変更

2 届出・報告事項

平成30年6月30日

・事業報告等の提出（内閣府）

平成30年11月2日

・変更の届出（内閣府）

平成31年3月29日

・事業計画書等の届出（内閣府）

V 附属明細書について

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年6月
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会